公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	I. I-2. (7)
対象事業	道路·街路事業
主要目標	道路景観の向上

	 		個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価					Γ	Г	
優先順位付け の考え方		公共関					事業	貢献度ランクの評価 副次効果ラ					事業間			
	対象地区・箇所名	与、事 業執行 主体の	経済効 率性	実施、 規模 の妥	整備 手法 の対性	環境 負荷 へ配慮	計画の熟	重献度 ランク 主要観光地 (観光入り込み客数)			副次効果ランク	評点	ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		妥当性		当性	WILL	HO NEX	汉		万人/年	有無						
	(都)甲府駅前線外1路線	0	0	0	0	0	0	а	330.0	有	1	4	SI	実施は妥当		実施
	(一)身延線	0	_	0	0	0	0	а	111.6	有	2	1	I			実施
					k											
					·											
十亜钼业体 星																
主要観光地、景 観形成に関する																
意欲が高い地 域の事業を優先					·											
する。																
					·											
					¢											
					ļ											
					·			ļ								
					 		J				†					1
						 					 					
								基準値			基準値					

副次効果評価調書

王要	目標番	号	I. I-2.	(7)	主要目標に対	対象地区·箇			
主要目標 道路景観の向上				向上		対象地区・歯 所で想定され る副次効果	評価の説明		
評価	対象地	区·箇所名	(都)甲府馬	R前線外1路線	~~**	~ ~ ~ MAK			
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上					
		I - 1. 交通	iの利便性の	(2) 市町村中心地·大規模拠点施設への アクセス向上					
		向上		(3) 市街地内の交通の円滑化					
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上					
	I			(4) 向上					
	. 県			(1) 森林機能の維持・向上					
	民生			(2) 憩い空間の創出	•				
	一活の			(3) 生活排水処理機能の向上					
	豐								
	かさと	I -2. 生活環境の向上		(4) 良好な市街地空間の確保	•				
	経			(5) 適正な居住空間の確保					
	済の発展を支え			(6) 歩行者等の通行空間の確保	•	0	歩行者・自転車交通量 9.681人台/12h>71人台/12h以上 ※ 主要駅からの距離 JR甲府駅 Okm<概ね1km以内 ※ 他事業との連携 無 (有)※ ※評価基準値 貢献度ランクa	2	
主要	える其			(7) 道路景観の向上					
要目標	基盤充								
項	実			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能 の向上					
目				(2) 農業生産力の向上					
		I -3. 農材 興	水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上					
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
		<u> </u>		(5) 森林整備の効率化					
	п			(1) 歩行者等の安全性の確保	•				
			の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保					
	6	向上		(3) 都市災害防止					
	٤			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上	•				
	経済			(1) 洪水被害の防止					
	活動			(2) 土石流被害の防止					
	安	Ⅱ -2. 洪水 の防止	· 土砂被害						
	全性			(3) 崖崩れ被害の防止					
	確保			(4) 地滑り被害の防止					
		Ⅱ-3. 鳥獣	被害の防止	(1) 鳥獸被害の軽減					
			交通ターミ						
	交通利	便性	アクセス機	能の維持					
			主要渋滞れ	ペイントの解消					
			水質の浄化	į.					
			大気汚染の	D軽減					
			騒音·振動	の軽減					
			良好な景観	見の創出	•				
				一化の促進					
	生活環	環境	ライフライン	の強化					
			身近な緑地	・交流の場の提供	•	0	甲府駅南口駅前広場の整備	1	
		飲雑用)安定供給					
			糞尿の処理	1					
				と・学習等活動の支援	•				
副)円滑な提供					
1/17	自然環	環境	水源涵養機	態能の向上					
果			生態系空間						
項目			防火帯·延	防火帯・延焼遮断帯の確保 緊急時の避難・救助機能の確保					
	事故・			捜害波及の防止					
				D崩壊危険性の排除					
			走行安全性						
			林業生産ナ						
			遊休農地の						
	生産性	Ė		用地の創出					
			農地の保全						
			農林産物の						
				ギーの活用					
			リサイクル・						
	その他	3		的資源等の保存・復元	•				
			他事業との	一体施工	•				
								1 .	
			重要プロジ	ェクトとしての位置づけ	•	0	甲府市中心市街地活性化基本計画	1 大効果	

副次効果評価調書

主要目標番号 I.I-2.(7) 主要目標 道路景観の向上					主要目標に対		Ser for a All for	A+ +- · · ·
評価対象地区・箇所名 (一)身延線					応する副次効 果項目	所で想定され る副次効果	評価の説明	評価結果
計皿	刈水地	区 固別石	(一) 牙延韧	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
		I - 1. 交通 向上	重の利便性の	(2) 市町村中心地·大規模拠点施設へのア クセス向上				
		門上		(3) 市街地内の交通の円滑化				
	Ι.			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上				
	県民			(1) 森林機能の維持・向上				
	生活			(2) 憩い空間の創出	•			
	の豊				•			
	かさと	I -2. 生活環境の向上		(3) 生活排水処理機能の向上				
	経			(4) 良好な市街地空間の確保	•			
	済の			(5) 適正な居住空間の確保				
	発 展			(6) 歩行者等の通行空間の確保	•			
	支			(7) 道路景観の向上				
主	の発展を支える基							
要目標	盤			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能 の向上				
標	充実			(2) 農業生産力の向上				
項目		I 一3. 農村 興	*水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上				
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
					_			
	_			(1) 歩行者等の安全性の確保	•			
	II		重の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保				
	暮ら.	向上		(3) 都市災害防止				
	しと経			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上	•			
	済			(1) 洪水被害の防止				
	活動		k水·土砂被害					
	の安	Ⅱ -2. 洪水 の防止		(2) 土石流被害の防止				
	安全性	عد زرار ده		(3) 崖崩れ被害の防止				
	確保			(4) 地滑り被害の防止				
		Ⅱ 一3. 鳥獣	状被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
			交通ターミ	 ナル機能の強化				
	交通利	便性	アクセス機					
			主要渋滞れ	ペイントの解消				
			水質の浄化	t				
			大気汚染の)軽減				
			騒音·振動	の軽減				
			良好な景観		•	0	電線類の地中化	1
				一化の促進				
	生活環	境	ライフライン					
				b・交流の場の提供 > 中字供給	•			
			飲雑用水の 糞尿の処理					
			-	* と・学習等活動の支援	•			+
副次効果項目				ン円滑な提供				+
	<u>⊢</u>	14	水源涵養植					
	日然環	自然環境		司の再生				1
			防火带·延	焼遮断帯の確保				
		・災害防止 被災時の初		壁難・救助機能の確保				
	事故・			捜害波及の防止				
			-	の崩壊危険性の排除				
			走行安全性					1
			林業生産力					-
	生产品	Ŀ	遊休農地の					
	生産性		新たな公共農地の保全	∈用地の創出				-
			農林産物の					
				ギーの活用				+
			リサイクル					
	その他	1	-	・・/ 的資源等の保存・復元	•			
			他事業との		•			
				ェクトとしての位置づけ	•			
_	_						副次効果	

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に"●"が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に"○"を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。